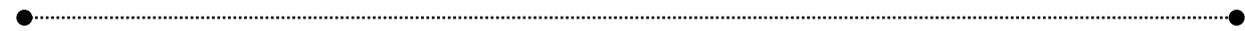


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里山を活用した子育て・子育て支援事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人わおん 0263-87-3005
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,352,948 円 (うち支援金：956,000 円)



事業内容

里山を活用した子育て・子育て支援を実施していくために、まずは実際に森に来てもらい、その魅力を体感してもらうことをめざして活動をしました。そのことにより、森がいままで以上に身近に感じられ、日常的に森に行くきっかけにしていきます。

- ①自然との関わりの大切さを保護者自身に知っていただくための里山子育て・子育てセミナーとフォーラムを開催
- ②子どもが自然とふれあい、保護者は森の中で癒しの体験をできるイベントを4回実施
- ③森カフェ・プロジェクトの常時開催に向けた準備



【森で楽しむ簡単料理】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

カフェのように気軽に行ける森「森カフェ」への参加者は増加傾向にあり、イベントやセミナーの効果が出てきていると考えられます。また、市内外で本事業の活動紹介をさせていただく機会があり、事業の広がりを感じています。特に阿部知事との県政ティーミーティングの開催や、三重県からの森カフェの視察の受け入れもあり、事業を継続することの大切さを実感しました。

また、イベントについては、各回、ほぼ定員に達し、前年度までと比べても反響があったほか、フォーラムについても関係各所とのつながりが強化されました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもたちが森に来るためには、どうしても保護者の協力が必要となるため、まずは保護者の関心を高める事業に力を入れていきます。そのためにも、地域の方にもご協力いただきながら、まずは大人に楽しんでもらえるイベントを増やしていくことを目指します。また、さらに森が身近になるために、森の利活用について関係各所と連携をとり、検討を続けていきます。

【目標・ねらい】

- ①こどもと自然のふれあい
- ②保護者と自然のふれあい
- ③森にでかける機会をつくる
- ④森を身近に感じる

※自己評価 【A】

【理由】

事業を続けてきたことで、実際に親子で森に来る方が増えてきていることと、市内外で本事業に関する関心が高くなってきているため

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある